

一般会計歳出の目的別経費

議会費(1.5%) 1億4,454万6千円
総務費(11.6%) 11億1,950万円
民生費(33.0%) 31億9,843万円
衛生費(8.7%) 8億3,961万1千円
農林水産業費(3.4%) 3億3,066万9千円
商工費(0.4%) 4,098万4千円
土木費(17.8%) 17億2,343万6千円
消防費(4.4%) 4億2,780万7千円
教育費(11.2%) 10億8,168万円
公債費(8.0%) 7億7,447万円

- 人件費
町職員給与、町議会議員・各種委員報酬など
- 扶助費
子ども(児童)手当、医療扶助、高齢者扶助など
- 公債費
事業を行うために借り入れたお金の返済金
- 普通建設事業費
道路の整備、公共施設などの建設に要したお金
- 物件費
消耗品、臨時職員賃金、業務委託料など
- 維持補修費
公共施設の維持や修繕などに要したお金
- 補助費等
一部事務組合など各種団体への補助金
- 積立金
各種基金へ積み立てたお金
- 繰出金
各種特別会計へ繰り出したお金

一般会計歳出総額 96億8,113万3千円

人件費	20億1,876万9千円(20.8%)	義務的経費(42.6%)
扶助費	13億3,339万8千円(13.8%)	
公債費	7億7,447万円(8.0%)	投資的経費(14.1%)
普通建設事業費	13億6,085万6千円(14.1%)	
物件費	11億431万4千円(11.4%)	その他の経費(43.3%)
維持補修費	1億7,122万1千円(1.8%)	
補助費等	12億6,080万3千円(13.0%)	
積立金	1億1,531万7千円(1.2%)	
繰出金	15億4,098万5千円(15.9%)	

※単位未満四捨五入のため、グラフ内訳と合計が合わない場合があります。

歳出の決算額と構成比で最も大きいのが人件費20億1,876万9千円(20.8%)で、次いで繰出金15億4,098万5千円(15.9%)、普通建設事業費13億6,085万6千円(14.1%)、扶助費13億3,339万8千円(13.8%)、補助費12億6,080万3千円(13.0%)、物件費11億431万4千円(11.4%)、積立金1億7,122万1千円(1.8%)、維持補修費1億7,122万1千円(1.8%)、繰出金15億4,098万5千円(15.9%)、公債費7億7,447万円(8.0%)、衛生費8億3,961万1千円(8.7%)、農林水産業費3億3,066万9千円(3.4%)、消防費4億2,780万7千円(4.4%)、商工費4,098万4千円(0.4%)、土木費17億2,343万6千円(17.8%)、教育費10億8,168万円(11.2%)、議会費1億4,454万6千円(1.5%)、総務費11億1,950万円(11.6%)、民生費31億9,843万円(33.0%)となり、民生費が最大の経費となりました。

歳出

9%それぞれ増加しました。また、町税や使用料など町が独自に調達できるお金(自主財源)は、前年度より1億7,393万6千円(4.0%)の増加となり、全体の43.5%を占めています。地方交付税などの国県などの意思決定により町に入ってくるお金(依存財源)は、前年度よりも8,918万8千円(1.6%)の増加で、全体の56.5%となりました。

特別会計	歳入	歳出
土地取得	1,250万5千円	1,250万5千円
住宅新築資金等貸付	665万4千円	517万6千円
国民健康保険	42億4,681万円	38億5,716万2千円
介護保険	22億3,211万1千円	21億2,062万7千円
後期高齢者医療	3億677万6千円	2億9,480万8千円
公共下水道	18億2,929万9千円	18億1,100万6千円
農業集落排水事業	8,869万1千円	8,389万6千円

特別会計決算額

益城町には、7つの特別会計と1つの事業会計があります。

水道事業会計

収益的収支	歳入	4億1,228万5千円
	歳出	3億4,534万8千円
資本的収支	歳入	7,440万1千円
	歳出	2億7,123万9千円